

第200500043714号
平成17年7月12日

社団法人鳥取県建設業協会会長
社団法人鳥取県土木施工管理技士会会長
社団法人鳥取県造園建設業協会会長
社団法人鳥取県管工事業協会会長
社団法人鳥取県電業協会会長
部落解放鳥取県企業連合理事長
鳥取県技能士連合会長

} 様

鳥取県県土整備部長

アンカー工に関する品質管理基準について（送付）

平成13年5月24日付管第151号により土木工事施工管理基準を改定し適用しているところですが、アンカー工の品質管理基準を明確にするため、下記のとおり改正を行い、平成17年7月12日以降適用することとしたので参考送付します。

なお、基本調査試験（引き抜き試験及び長期試験）を施工時に実施する場合には、試験内容等を設計図書に明示するとともに、技術管理費に試験費用を計上することとしていますので申し添えます。

記

- 1 品質管理基準に「14アンカー工」と「16抑止アンカー工」があり、適用を誤る恐れがあることから、「14アンカー工」に統一し、「16抑止アンカー工」を廃止とした。
- 2 試験項目等について、「グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（JGS4101-2000）」に合わせた記載とした。
- 3 「16抑止アンカー工」に記載されていた「引き抜き試験」及び「長期試験」については、アンカーの設計に用いる諸定数などを決定するために行う試験であるため、品質管理基準から削除した。

（担当）

県土整備部企画防災課
担 当：技術調査係 新宮
電 話：0857-26-7410
ファクシミリ：0857-24-7460

改正前

改 正 前								
工 種	種 別	試験 区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘 要	試験場所の区分
14 アン カー 工	施工	必須	モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	2回（午前・午後）／日		エ センターで行う
			モルタルのフロー値試験	JIS R 5201	設計図書による。	練りませ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー値とする。		イ
			適性試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	原則として5%かつ3本以上。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
			確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	適性試験に用いられたアンカーを除く全本数 ①10本ごとに1本のアンカー （初期荷重は、計画最大試験荷重の約0.1倍とし、計画最大試験荷重までの載荷と初期荷重までの徐荷を行う。） ②その他のアンカー （計画最大試験荷重まで載荷する）	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
16 抑止 アン カー 工	施工	必須	引き抜き試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	設計地盤、施工方法ごとに1本。	・グラウンドアンカー工に適用する。	イ
			長期試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	設計地盤、施工方法ごとに1本。	・グラウンドアンカー工に適用する。	イ
			多サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	施工本数×5%かつ3本以上。	・グラウンドアンカー工に適用する。	イ
			1サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説	設計荷重に対して十分に安全であること。	多サイクル確認試験分を除くその他のアンカー全数。	・グラウンドアンカー工に適用する。	イ

改 正 後

改　正　後

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘　要	試験場所の区分
アンカー工	施工	必須	モルタルの圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	2回（午前・午後）／日		エ センターで行う
			モルタルのフロー値試験	JIS R 5201	設計図書による。	繰り返せ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー値とする。		イ
			多サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (TGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・原則として5%かつ3本以上。 ・初期荷重は計画最大荷重の約0.1倍とし、引き抜き試験に準じた方法で載荷と除荷を繰り返す。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
			1サイクル確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (TGS4101-2000)	設計アンカー力に対して十分に安全であること。	・多サイクル確認試験に用いられたアンカーを除く全本数 ・初期荷重は、計画最大試験荷重の約0.1倍とし、計画最大試験荷重までの載荷した後、初期荷重までの徐荷する1サイクル方式とする。	但し、モルタルの必要強度の確認後に実施すること。	イ
			その他		その他の確認試験	グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説 (TGS4101-2000)	所定の緊張力が導入されていること。	・定着時緊張力確認試験 ・残存引張力確認試験 ・リフトオンテスト等があり、多サイクル確認試験、1サイクル確認試験の試験結果をもとに、監督員と協議し行う必要性の有無を判断する。
16 抑止アンカー工	削　　除							